



平成 22 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 フマキラー株式会社  
代表者名 代表取締役社長 大下 一明  
(コード番号 4998 東証第 2 部)  
問合せ先 取締役管理本部長 小谷 眞弘  
(T E L . 0829-55-2112)

### ブレーンズ・パーク建設について

当社は、平成 22 年 5 月 13 日開催の当社取締役会において、長期的な視点に立ち、新商品開発力の更なる強化、並びに、今まで以上に高い品質及びコストダウンを実現するため、新しい開発棟及び生産設備であるブレーンズ・パークを建設することを決定いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、本年、前身である大下回春堂が大正 9 年に殺虫剤「強力フマキラー液」の開発・製造販売を世界に先駆けて開始してから 90 年を迎えることとなります。この間、「ひとの命を守る。ひとの暮らしを守る。ひとを育む環境を守る。」という経営理念を掲げ、世界中の人々が安心して快適に暮らすことのできる社会づくりに貢献し、人々と感動を共にすることにより、世界中から愛される企業を目指して参りました。

当社の競争力の源泉は、研究開発を重視する技術志向の組織風土を背景とする「商品力」にあります。

一方、現在の開発棟は建設から 45 年が経過して老朽化しており、新たな試験設備を設置するうえで制約があるばかりでなく、近い将来には研究開発活動の継続に支障をきたす可能性も否定出来ない状況にあります。また、研究開発員の人員増加により現在の開発棟に全ての研究開発員が入りきらず、別々の建物に分散して入居する状況となっているため、情報の共有化を図って研究効率を高めるうえでも課題が生じつつあります。

また、当社は、開発から金型・生産まで一貫して自社生産を行うことにより高い品質とコストダウンを両立して参りましたが、近年の売上高増加に伴い、既存設備を利用した生産能力増強及び生産対応品目拡大は限界が近付きつつあります。

このような状況を抜本的に改善し、今後の長期的な「商品力」向上を実現するためには、新しい開発棟及び生産設備であるブレーンズ・パークを建設することが必要と判断いたしました。

## 記

### 1 ブレーンズ・パークの概要

- |          |                        |
|----------|------------------------|
| (1) 建設場所 | 当社広島工場（広島県廿日市市梅原）敷地内   |
| (2) 建築面積 | 約 6,813 m <sup>2</sup> |
| (3) 延床面積 | 約 8,882 m <sup>2</sup> |
| (4) 内 容  | 研究開発及び生産に使用する施設等       |
| (5) 投資金額 | 約 26 億円（概算）            |

### 2 今後の予定

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| (1) 建築計画の告知 | 平成 22 年 5 月 14 日 |
| (2) 建築確認申請  | 平成 22 年 6 月中旬予定  |
| (3) 着工      | 平成 22 年 9 月中旬予定  |
| (4) 一部稼働開始  | 平成 23 年 7 月予定    |
| (5) 完全稼働    | 平成 23 年 12 月予定   |

### 3 今後の見通し

ブレーンズ・パークは、平成 23 年 7 月より、準備が完了したのから順次稼働を予定しており、平成 23 年 12 月には完全稼働を予定しております。当期の業績に与える影響はございません。来期以降の業績に与える影響につきましては、その内容が具体的に明らかになり次第、速やかに開示いたします。

以上